

新型コロナ抗原検査キットの特徴と正確性について

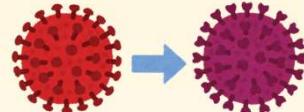


最近ではインターネットやドラッグストア等で抗原検査キットが、気軽に購入出来るようになりました。



これから季節、行楽や帰省など、外出や会食など人と人との接点が多くなる時期。

田舎の祖父母、ご両親等、大切な方とお会いになる前に感染していないかなど、簡単に確認出来るようになってきました。



しかし新型コロナウイルスがデルタ株、オミクロン株、派生型と変異を繰り返していくごとに、検査結果について擬陽性、偽陰性という問題がより多く見られるようになってきました。

次々と変異していく中でこの「抗原キット」、医療現場でもより注意深く使用しています。

【抗原キットについて簡単にご説明します】

抗原キットは「ウイルスを特徴づけるたんぱく質（抗原）」の反応を検定します。簡単に言うと「異物」が侵入した時に起きる反応を拾い上げます。

しかし、このウイルスである「異物」が形を変える（変異）を繰り返すこと、検査キットの拾い上げる能力（感度）がついていけなくなってきたと言えます。



米国スタンフォード大学のオミクロン株に対する調査結果によると、オミクロン株に対する抗原検査の精度はかなり低下してきているようです。

PCR検査が陽性で新型コロナ感染が確定された方のうち、抗原検査でも検出できた割合（感度）は以下の数字でした。

発症した方（発熱などの症状が認められた方）では77.8%の方が抗原検査でも陽性（感度77.8%）、一方、発症していない方（無症状であった方）では39.2%しか陽性になりませんでした。（感度39.2%）

つまり、有症状の人でも100人中22～23人を見逃す。無症状のコロナの場合だと100人中61人を見逃すということです。

抗原キットで陰性だったとして、新型コロナウイルスに感染していないとか他人に感染させない保証にはなりません。

陽性、陰性の有無に関わらず少しでも体調がすぐれない場合は、計画を見直すなどし、健康が回復するまでご静養ください。

またご不安であれば医療機関での受診をお願いします。医師は、問診、視診、触診、全体症状、感染経路など、検査結果と臨床判断を組み合わせて、評価、診断をしていきます。コロナやインフルエンザ以外の病気の可能性も含め、多角的に診察させていただきます。

この冬、感染対策と体調を整えて、楽しい思い出をたくさんつくりましょう。

